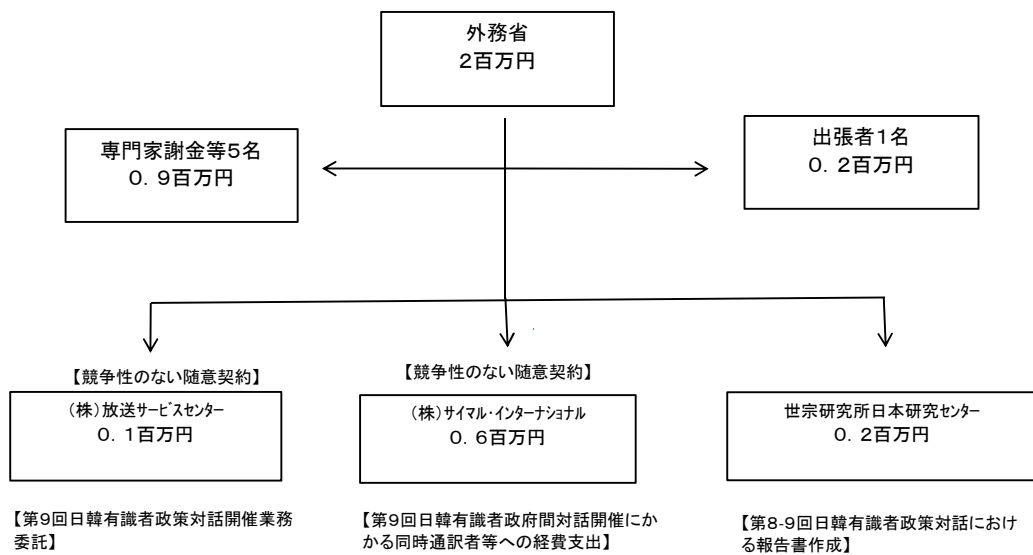


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日韓政策対話	担当部局庁	アジア大洋州局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度	担当課室	北東アジア課	課長 小野 啓一				
会計区分	一般会計	施策名	I-1 アジア大洋州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第二項及び第三項 外務省組織令第40条	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日韓双方の有識者及び政府関係者が、日韓関係全般等につき、中長期的な観点から率直かつ幅広く議論を行うとともに、議論の結果を報告書として日韓両政府に提出させることで、今後の外交政策を立案・実施していく上で有意義な検討材料を得ることを目指す。また、我が方政府関係者と韓国政府関係者及び有識者とのネットワーク構築を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日韓両国から、政府関係者及び研究者が集まり、それぞれの視点から日韓関係等の現状を分析し、日韓関係の諸課題等について議論するための研究会(「日韓政策対話」)を開催することとし、そのための会議開催費用、資料作成費用等を計上するもの。韓国で開催する際には、日本側研究者の海外旅費、宿泊費、謝礼、報告書作成費等を日本側で負担し、日本で開催する際には、日本側研究者の国内旅費、宿泊費、謝礼、会場費、報告書作成費等を日本側で負担する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	2	2	2	2	3	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
	計	2	2	2	2	3		
	執行額	2	1	2				
執行率(%)	100.00%	50.00%	100.00%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	我が方政府関係者と韓国政府関係者及び日韓有識者とのネットワーク構築強化。 右成果実績は、日韓政策対話参加者数。		成果実績	人	12	12	21	24
			達成度	%	50%	50%	88%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	日韓政策対話開催回数。		活動実績 (当初見込み)	回	1	1	2 (2)	— (2)
単位当たりコスト	954(千円/1回)		算出根拠	1回当たりの会議開催経費(22年度執行額/会議開催数)				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	日韓政策対話開催経費	914	1,441	執行実績を踏まえた見直しによる増				
	旅費	840	1,545					
計	1,754	2,986						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大い場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	会議を準備する段階より当方が直接関わっているため、支出状況についてはすべて明確に把握している。また、会議にも政府関係者が直接参加しており、実施状況や効果についても毎回適切に把握している。本件はこれまで、中長期的観点から日韓の諸懸案等を議論し人的ネットワークを構築する貴重な機会となっており、効果的に実施されてきている。また、現在の支出状況は、韓国側との間で同会議を効果的に開催するにあたり必要最小限な負担にとどまっており、同水準を維持することが必要と考える。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	謝金	0.9	—	—
2					
3					
4					
5					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サイマル・インターナショナル	日韓有識者政策対話 同時通訳者手配	0.6	随意契約	—
2					
3					
4					
5					

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	世安研究所日本研究センター	報告書作成業務	0.2	随意契約	—
2					
3					
4					
5					

D

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	出張旅費	0.2	—	—
2					
3					
4					
5					

E

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)放送サービスセンター	日韓有識者政策対話 同時通訳用機材	0.1	随意契約	—
2					
3					
4					
5					